

与那国島

階段状地形は「海底遺跡」

古代の城と構造上の共通点

「階段状地形は、二、三メートルの高さの石垣で築かれた人工的なもので、海底に沈んだ城の遺跡と見られる」と、琉球大学海洋学部の木村教授は、このように判断した。

木村琉大教授が発表

琉球大学海洋学部の木村教授は、この「階段状地形」は、縄文時代の遺跡と見られると発表し、長谷川千太郎教授らと共に、この地形の構造を調査した。

「階段状地形」は、縄文時代の遺跡と見られると発表し、長谷川千太郎教授らと共に、この地形の構造を調査した。木村教授は、この地形の構造を調査し、二、三メートルの高さの石垣で築かれた人工的なもので、海底に沈んだ城の遺跡と見られると判断した。

木村教授は「階段状地形」は、縄文時代の遺跡と見られると発表し、長谷川千太郎教授らと共に、この地形の構造を調査した。木村教授は、この地形の構造を調査し、二、三メートルの高さの石垣で築かれた人工的なもので、海底に沈んだ城の遺跡と見られると判断した。



琉大の木村教授が、海底遺跡と同様に人工的に築かれたもの、と判断した

遺跡は人工物の可能性

与那国の海底造形物で木村琉大教授



海底調査で打撈とみられる穴が見つかった。2つの穴の間に人工的に構ったと考えられる跡がある（与那国島の海底（3月20日撮影）。琉球大学海底調査隊提供）

人工物が自然の造形物が、断面に人工的打撃痕と見られる凹凸が認められる。与那国島の沖合、イセモイシなど、この遺跡の上については、琉球大学海

底調査隊（副隊長・木村琉大教授）が、1991年11月、マスキミ

白土（11月）まで現地調査を行った。その結果、断面の

スレ彫彫ではない。石の

断面に人工的打撃痕と見られる凹凸が認められる。与那国島の沖合、イセモイシなど、この遺跡の上については、琉球大学海

底調査隊（副隊長・木村琉大教授）が、1991年11月、マスキミ

白土（11月）まで現地調査を行った。その結果、断面の

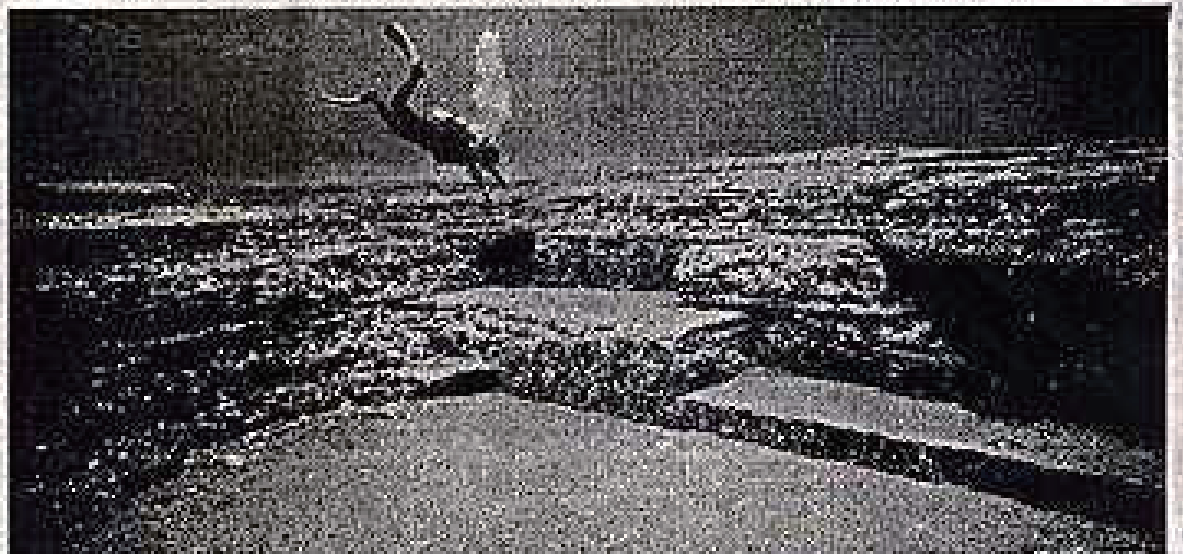
スレ彫彫ではない。石の

断面に人工的打撃痕と見られる凹凸が認められる。与那国島の沖合、イセモイシなど、この遺跡の上については、琉球大学海

底調査隊（副隊長・木村琉大教授）が、1991年11月、マスキミ

白土（11月）まで現地調査を行った。その結果、断面の

スレ彫彫ではない。石の



巨大岩石に柱の穴や階段

岩盤をくりぬいたような形状がある沖縄県・与那
田島の浅野ポイント上部。ダイバーがいる真下
に2つの穴がある

与那国島沖の海底

長さ約120m
幅約40m
高さ約20m

琉球大の木村政昭教授
(海洋地質学)は十七日、
沖縄県・与那国島沖の海底
にある巨大な岩石について
「柱の穴とみられる跡や階
段状の段がついているな
ど、人の手が加えられた形
跡があり、古代の遺跡の可
能性が高い」と発表した。
木村教授は「浸食や断層
によるものとは考えられな
い形状だ。遺跡が造られた
時期は不明だが、地質学的
な変化などからみて(海面
が大きく変動した)一万年

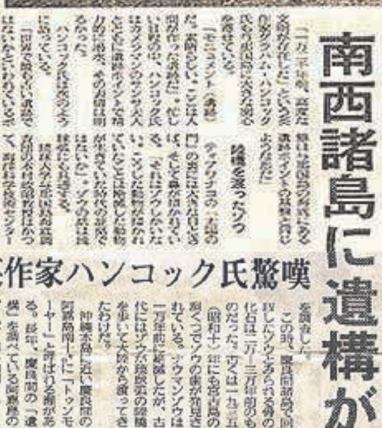
千年前か四千年前に水没し
たのではないかと話してい
る。

この岩は、与那国島南部
の新川鼻(あらかわぼね)の
沖合三百一三百呎の水深約
三十呎にあり、長さ約百一
十呎、幅約四十呎、高さ約
二十呎。

琉球大の海底遺跡調査団
(団長・木村教授)が、三
月下旬、潜水などによる調
査をした。岩の南側を中心
に、切り立った階段状の段
があったほか、上部には、
二つ並んだ直径約九十センチ、
深さ約一呎の円筒形の穴が
見つかった。木村教授らは
柱の穴とみており、「テラス
状の平らな岩の上で、礼拝
などが行われたのではない
か」と推測している。

似たような球形が島の南
東部の断崖が続く「サン
ニヌダイ」や、早良部岳(標
高三二二呎)の山頂にもあ
り、調査団は遺跡の可能性
を高くして今後、調べる
方針だ。

1万年から4000年前 南方の文明が水没した？



南西諸島に遺構が点在

【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

英作家ハンコック氏驚嘆

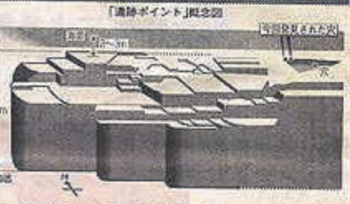
【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

英作家ハンコック氏は、この遺構の規模と構造に驚嘆を覚えている。彼は、この遺構が古代文明の遺跡であると信じている。

古代の要さいに迷

【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

古代の要さいに迷うのは、この遺構の規模と構造が、現代の建築技術では説明がつかないからである。



人工的階段や広場発見

【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

人工的階段や広場が発見された。これは、この遺構が高度な文明の遺跡であることを示している。

琉球弧の海底遺跡を探る

【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

琉球弧の海底遺跡を探る。これは、この遺構が琉球弧の文明の遺跡であることを示している。



この地図は、琉球弧の位置を示しています。調査地点は、南西諸島の南西に位置しています。

与那国島の奇岩は山城？

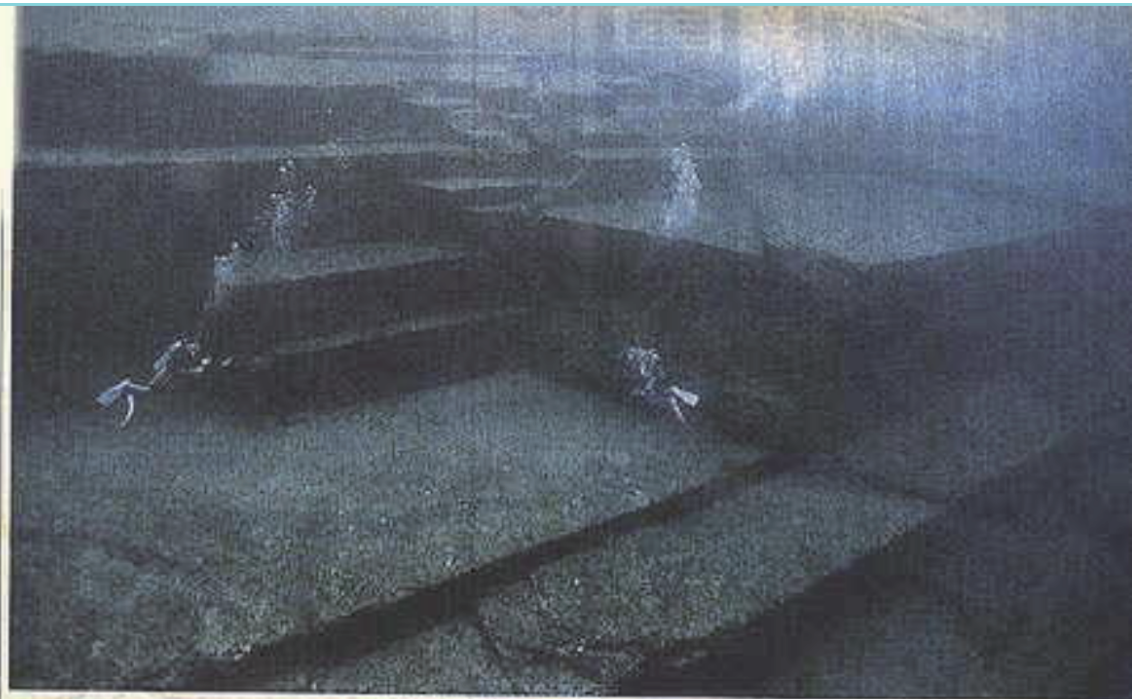
【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

与那国島の奇岩は山城？これは、この奇岩が山城の遺跡であると信じている。

路も

【高知市】南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。高知市立博物館の調査によると、南西諸島の南西に点在する遺構は、1万年から4000年前の文明が水没したという説が有力視されている。

路も。これは、この遺構が道路の遺跡であると信じている。



海中の古代遺跡!?

——日本最西端 与那国島

古代遺跡? 海中の巨大な岩はテラスとも見える(水深約10m)

日本最西端、沖縄・与那国島の海底に、人工構築物と思われる巨大な一枚岩が、長さ百十尺、幅四十尺、高さ十尺にわたって広がっている。琉球大学が「人の手が加えられたもの」とは断定できる。調査は、馬場伸定(琉球大学)と、大村政昭(琉球大学)が中心となり、馬場八郎さんが発見した。島の南側、「新田島」から約(約)二、三キロ、水深に約十メートルの境界面が多数走っていることから、自然のいたずら説が有力だ。



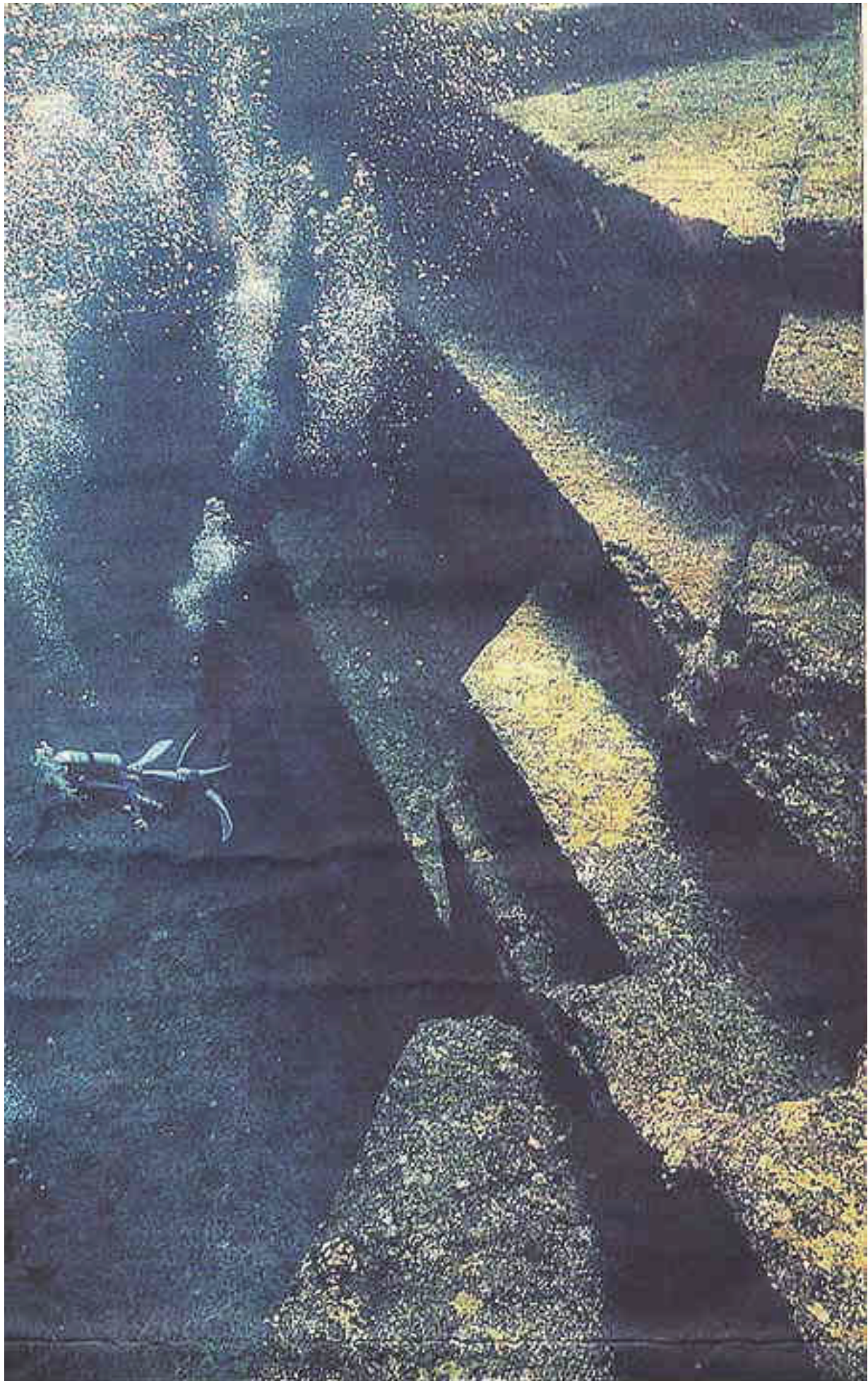
馬場伸定(琉球大学)と、大村政昭(琉球大学)が中心となり、馬場八郎さんが発見した。島の南側、「新田島」から約(約)二、三キロ、水深に約十メートルの境界面が多数走っていることから、自然のいたずら説が有力だ。

トピックス 最前線

馬場伸定(琉球大学)と、大村政昭(琉球大学)が中心となり、馬場八郎さんが発見した。島の南側、「新田島」から約(約)二、三キロ、水深に約十メートルの境界面が多数走っていることから、自然のいたずら説が有力だ。

③テラスと「道」の痕跡、約十メートルの円筒形の「ため池」や階段、八上りの「つぎ」など、柱石、(4)海底下の道は、馬場伸定(琉球大学)の調査で発見された。馬場伸定(琉球大学)の調査で発見された。

馬場伸定(琉球大学)と、大村政昭(琉球大学)が中心となり、馬場八郎さんが発見した。島の南側、「新田島」から約(約)二、三キロ、水深に約十メートルの境界面が多数走っていることから、自然のいたずら説が有力だ。



人工か自然か 上から見ると巨大な階段のようだ＝写真はいずれも沖縄県・厚那国島で

